



# たいばつ いじめや体罰、ど

青少年版で取り上げてみたいテーマのアンケートを行ったところ、いじめ・体罰が最も多く挙がりました。携帯電話やスマートフォンを利用したいじめも増えています。子どもたちは、いじめや体罰についてどのように考えているのでしょうか。

いじめが年々増えていくことに疑問をもちます。学校では心のアンケートや保健室前の心のポストで悩みや辛い気持ちを相談できます。みんながそれを活用したり、だれかにうちあけたりしていじめがなくなると良いと思います。今だれかをいじている人は、すぐに自分のあやまちに気付いてほしいです。

傷が深くなる一方です。いじめる人は何らかの理由があっけいじめると思っています。どんな理由があつたとしても、自分でおさえることが大事だと思います。

## ほかの人に相談してみんなで助けよう



【八千代台西小・関根恵蒔】いじめはとてもこわいです。いじめられた人が、時には自ら命を絶ってしまうことがあるからです。いじめは途中で周りの人が止めることが大事です。

周りの人が気付いてあげないと、どんどんひどくなっていきます。でも正直ぼくは、いじめられている人を見て助けられるかわかりません。そういう時は他の人にも相談してみんなで助けを求めたいと思います。そういう勇気を持つてようになりたいです。



## つよ強い心を持って「やめて」と言おう



【大和田南小・福田三冬】いじめは、だれかの悪口を言ったり、暴力を行ったりすることです。けれども、中には、ふざけたつもりでやっていたら、いじめになってしまったということがあります。だから私は、一人一人がこれをやったら相手はどう思うのか、自分がやられたらどう思うかを考えて行動したらいいと思います。また、強い心を持って「やめて」と言えとさらいにいいと思います。一人一人が意識して、少しでもつらい思いをする人がいなくなるのが一番です。

## 周りの人が止めてあげることが大切



【大和田中・中尾美月】いじめが起こるケースはさまざまです。思ってもいないのに、自分がいじめを受けるのが嫌だから一緒にやってしまったり、他のことでたまつたストレスで起こしたりすることもあります。でも、必ず誰かの一言で始まります。個人的に「〇〇が苦手だ」そう思うのは仕方ありません。問題はその後です。人は誰かを嫌いになると、同意をしてくれる人を求めるのです。「〇〇さんって～じゃない?」誰かがもし、そのようなことを言っても、周りの人が止めてあげること、流されることが大切です。また、陰で言うのではなく、本人にやさしく「ここを直した方が～だよ」と気付かせてあげればいと思います。

## 他を理解する力をつけることが大切



【米本南小・宮城治壮】ぼくは、いじめはあつてはならないことだと思いますが、現実ではどこかで起こっています。みんながみんな性格や行動が違うので、個人個人で意見があわず、他を理解することが難しいです。いじめやけんかをなくすには、一人ひとりが真剣に考えていかなければなりません。一人ひとりがしっかりと自分なりに勉強をして、他を理解する力をつけていけるとよいと思うし、ぼくもそうしたいです。

## 自分がされて嫌なことをしない



【萱田小・大西成隆】いじめや体罰が原因で自殺をしたというニュースを聞くとき悲しい気持ちになります。いじめが原因で不登校になっている生徒も多いと聞きます。僕は小さい頃から、「自分がされて嫌なことを他の人にしない」「自分は大丈夫と思つていても他の人は嫌だと感じるかもしれないから、相手の身になって考える」と教わってきました。みんながこのようなことを意識すれば、いじめは起きないのではないかと思います。

## なや悩みや辛い気持ちを相談して



【西高津小・片岡夏海】私は人がだれかをいじているところを見たことはないけれど、いじめのニュースを見て、人をいじめて何か得ることにはあるのかと思います。いじめる人の気持ちは私にはわかりません。いじめられている子がもし自殺してしまったら、いじめた人は責任をとれるのかとも思います。メリットが見あたらな

## いじめは心の傷をつけるひどいもの



【大和田西小・安原風香】いじめは人の将来をうばい、心の傷をつけるひどいものだと思います。なぜかという、いじめられた人は心に傷がつき、じきにがまんができなくなって不登校となることが多いからです。そこで授業が受けられなくなってしまいます。勉強ができないと、やりたい仕事もできなくなってしまい、将来にも大きく関わります。また、学校へ行つたとしても心の

## だいさんしや第三者が勇気を持って注意を



【睦中・佐藤大河】いじめはとても恐ろしいことです。いじている人は遊び感覚でも、相手はとても傷ついていることもあるのです。僕が一番ダメだと思うのは、その周りにいる第三者です。第三者は冷静にまわりを見ることが

## ちき記者の目

1つのことを追求する日本人 大和田小・伊達寛明  
先日、新型ロケット「イプシロン」が発射に成功しました。費用は今までの2分の1、作る期間も短くなりました。しかし、その成功への道は7年もかかったそうです。日本人は1つのことを一生懸命追求する力を持っているので、ぼくもそのような日本人になりたいです。

東京の発展を見るのが楽しみ 八千代台小・東美里  
東京オリンピックが楽しみです。前に東京でオリンピックが行われたのは昭和39年で、その時の東京は、新幹線が開業したり道路が整備されたりと大きく発展していったそうです。なので、次の東京オリンピックで、今の東京がどんな風に発展していくのかその様子を自分の目で見るのができるのを楽しみにしています。

## ちき地球温暖化を防ぐには

睦小・蒔田歩樹  
私たちが毎日すごしている中でも、地球温暖化が進んでいます。地球温暖化を防ぐには、一部の人のみではなく、多くの人々がエコカーに乗ったり、エアコンの使用をひかえたりするなど、意識すればよいのではないかと思います。

冷蔵庫に入る店員 八千代台東小・植田栄太郎  
ぼくは、コンビニの店員が商品の入っている冷蔵庫に入り、その写真を公開したというニュースに関心を持っています。冷蔵庫には、商品が入っているのだから汗まみれの人間が入つてよいところではありません。どうしてそんな当たり前のことが分からないのかなと思います。

事故につながるスマホや携帯 勝田台中・大島優夏  
最近は大人も子どもも持っているスマートフォンや携帯。とても便利ですが、使い方やマナーを守らないと思わぬ事故につながります。私は駅で携帯を操作しながら歩いている人に危うく

ぶつかりそうになったことがあります。本人は全く気がついていませんでした。スマホや携帯はマナーを守れる人が持つべきです。

消費税が上がると大変 八千代中・上埜日向子  
消費税が5%から8%になってしまうということですが、買い物する時に払うお金が高くなるのであまり嬉しいことではありません。でも消費税が良いことに使われるのであれば、払う意味があると思います。そう言いながらも、これ以上消費税が上がると大変です。

子どもの意見も聞かべき 八千代高・の場千夏  
「はだしのゲン」の図書館での自由閲覧を禁止する、という報道を耳にしました。図書館での自由閲覧を許可する、許可しないと大人たちとの間で勝手に議論していますが、子どもの意見も聞かなければいけないのではないのでしょうか。勝手に大人たちが色々なことを制限してしまうことで、子どもたちの「知る権利」が奪われてしまい、考える力の低下にもつながっているのではないかと思います。